



2023年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ

上場取引所 東

コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 朱峰 玲子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 家島 広行

TEL 03(5411)7222

四半期報告書提出予定日 2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績(2022年7月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	1,421	3.2	59	258.1	63	181.7	33	214.0
2022年6月期第3四半期	1,376	1.3	16		22		10	

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 38百万円 (%) 2022年6月期第3四半期 2百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	2.93	
2022年6月期第3四半期	0.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	1,854	525	28.3
2022年6月期	1,805	487	26.9

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 523百万円 2022年6月期 485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		0.00	0.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年6月期の配当予想につきましては、現時点で未定であります。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	2.8	55	83.9	60	60.9	40	136.9	3.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	11,492,100 株	2022年6月期	11,492,100 株
期末自己株式数	2023年6月期3Q	48 株	2022年6月期	48 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	11,492,052 株	2022年6月期3Q	11,492,052 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ウィズコロナへのシフトが進み、景気の持ち直しが期待されております。一方、長引くロシアウクライナ情勢に起因した資源価格の高騰、世界的なインフレ圧力などによる世界経済の減速による下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する美容業界におきましては、サロンの来店客数は戻りつつある中で、コロナ禍での顧客ニーズの多様化などにより利用客の増加や顧客単価も上昇してきております。

このような状況のもと、引き続き、当社グループにおきましても、新たな収益の柱となるコンテンツの創出に注力しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、直営サロン運営事業、美容室支援事業及びキャリアデザイン事業は堅調に推移し、前年同期に比べ増収となったため、全社としても前年同期に比べ増収となりました。営業損益及び経常損益につきましては、いずれも営業利益、経常利益となりました。2023年6月に閉店を予定している直営店1店舗の閉鎖に係る減損損失を特別損失として計上しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前年同期に比べ増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,421,243千円（前年同期比3.2%増）、営業利益59,424千円（前年同期比258.1%増）、経常利益63,812千円（前年同期比181.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益33,706千円（前年同期比214.0%増）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン12店舗（モッズ・ヘアサロン11店舗、美容室セラヴィ1店舗）を展開しております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、コロナ禍での各種施策を引き続き継続しており、既存店の業績は前年同期に比べ回復基調で推移しました。セグメント損益につきましては、セグメント利益となりました。なお、この先のウィズコロナ、アフターコロナ時代の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフは不可欠であり、従業員の不安を解消するとともに人材育成に引き続き注力しております。

当第3四半期連結累計期間の直営サロン運営事業の業績は、売上高703,650千円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益47,079千円（前年同期比777.0%増）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第3四半期連結累計期間の店舗数の異動は、国内の閉店3店舗、韓国での閉店3店舗、中国での新規出店1店舗により、減少5店舗となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内40店舗、韓国14店舗、台湾2店舗及び中国4店舗の計60店舗となっております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、プライベート商品（PB商品）をはじめとした商品販売に引き続き注力することにより、PB商品売上は堅調に推移しております。一方で、BSサロンの閉店店舗の影響などにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間のBSサロン運営事業の業績は、売上高205,923千円（前年同期比15.0%減）、セグメント利益92,396千円（前年同期比0.9%減）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、ブライダル部門において婚礼件数が戻ってきておりますが、売上原価の増加等の影響により、当第3四半期連結累計期間は売上高283,237千円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益6,535千円（前年同期比65.5%減）となりました。

(美容室支援事業)

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、S C A T株式会社との提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に推移しておりますが、事業拡大に向けた人件費等のコストが先行した結果、売上高89,895千円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益52,781千円（前年同期比4.0%減）となりました。

(キャリアデザイン事業)

2020年7月より人材派遣事業、人材紹介事業を営む株式会社オンリー・ワンを連結子会社化いたしました。当社グループでは、単に人材派遣事業、人材紹介事業と捉えず、キャリアデザイン事業として新たな成長戦略の柱として位置付けております。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループに加わったスケールメリットを活かした販路の拡大が順調に推移し、現在注力しているタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等も、着実に件数を伸ばしております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高203,689千円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益14,796千円（前年同期比259.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ48,880千円増加し、1,854,105千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の増加19,212千円、商品の減少6,538千円、のれんの減少11,563千円、未収入金の増加64,053千円、差入保証金の減少10,558千円などによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ10,377千円増加し、1,328,128千円となりました。主な要因としましては、未払金の増加64,058千円、長期借入金の減少23,571千円、社債の減少14,000千円、未払法人税等の減少6,927千円などによるものであります。

なお、資産科目の未収入金の増加64,053千円のうち63,662千円増加、負債科目の未払金の増加64,058千円のうち63,559千円増加は、美容室支援事業のクレジット決済代行サービスの取扱高の拡大によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ38,503千円増加し、525,977千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益33,621千円、その他有価証券評価差額金の増加4,881千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2023年2月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	571,734	590,946
受取手形及び売掛金	110,618	113,477
商品	71,559	65,020
未収入金	717,899	781,952
その他	26,941	21,454
貸倒引当金	△3,342	△1,550
流動資産合計	1,495,410	1,571,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	274,484	278,874
減価償却累計額	△230,415	△241,202
建物及び構築物(純額)	44,068	37,672
工具、器具及び備品	67,798	68,112
減価償却累計額	△54,668	△56,596
工具、器具及び備品(純額)	13,130	11,515
その他	5,440	5,440
減価償却累計額	△3,588	△4,323
その他(純額)	1,852	1,117
有形固定資産合計	59,050	50,305
無形固定資産		
のれん	70,998	59,434
その他	1,861	1,455
無形固定資産合計	72,859	60,890
投資その他の資産		
投資有価証券	37,878	44,857
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	8,758	8,758
差入保証金	121,805	111,247
繰延税金資産	2,695	1,405
その他	8,691	7,543
貸倒引当金	△34,754	△34,754
投資その他の資産合計	177,283	171,266
固定資産合計	309,193	282,461
繰延資産		
社債発行費	620	341
繰延資産合計	620	341
資産合計	1,805,224	1,854,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,845	14,290
短期借入金	100,000	100,000
1年内償還予定の社債	14,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	30,847	23,554
未払金	844,552	908,610
未払法人税等	13,166	6,238
未払消費税等	27,934	27,924
賞与引当金	2,136	1,090
株主優待引当金	10,619	4,082
契約負債	22,599	23,690
その他	42,821	38,264
流動負債合計	1,118,522	1,163,747
固定負債		
社債	16,000	—
長期借入金	61,758	45,480
受入保証金	61,000	55,500
資産除去債務	18,565	18,614
退職給付に係る負債	2,123	2,637
役員退職慰労引当金	13,200	14,399
その他	26,580	27,748
固定負債合計	199,228	164,380
負債合計	1,317,751	1,328,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,040	517,040
資本剰余金	119,189	119,189
利益剰余金	△149,496	△115,874
自己株式	△13	△13
株主資本合計	486,720	520,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,224	3,657
その他の包括利益累計額合計	△1,224	3,657
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	487,473	525,977
負債純資産合計	1,805,224	1,854,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)
売上高	1,376,860	1,421,243
売上原価	975,376	999,430
売上総利益	401,483	421,812
販売費及び一般管理費	384,889	362,387
営業利益	16,593	59,424
営業外収益		
受取利息	12	6
受取配当金	588	711
為替差益	556	—
貸倒引当金戻入額	1,455	2,463
助成金収入	3,193	61
違約金収入	—	2,310
その他	1,780	1,055
営業外収益合計	7,586	6,608
営業外費用		
支払利息	1,229	1,594
社債発行費償却	279	279
為替差損	—	132
その他	21	214
営業外費用合計	1,530	2,220
経常利益	22,650	63,812
特別利益		
新株予約権戻入益	230	—
特別利益合計	230	—
特別損失		
固定資産除却損	197	—
店舗閉鎖損失	976	—
減損損失	—	9,084
特別損失合計	1,174	9,084
税金等調整前四半期純利益	21,705	54,727
法人税、住民税及び事業税	10,997	21,105
法人税等合計	10,997	21,105
四半期純利益	10,707	33,621
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,707	33,621

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	10,707	33,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,602	4,881
その他の包括利益合計	△8,602	4,881
四半期包括利益	2,105	38,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,105	38,503
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアデ ザイン事業	計		
売上高	644,919	242,275	295,719	89,054	166,618	1,438,587	△61,727	1,376,860
セグメント利益	5,368	93,218	18,959	54,954	4,116	176,616	△160,022	16,593

(注) 1. セグメント利益の調整額△160,022千円には、棚卸資産の調整額555千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△160,577千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアデ ザイン事業	計		
売上高	703,650	205,923	283,237	89,895	203,689	1,486,396	△65,152	1,421,243
セグメント利益	47,079	92,396	6,535	52,781	14,796	213,589	△154,164	59,424

(注) 1. セグメント利益の調整額△154,270千円には、棚卸資産の調整額△77千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△154,192千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において「直営サロン運営事業」セグメントに係る減損損失9,084千円を計上しております。